

## ⑫ 公開実用新案公報(U) 平1-167212

⑬ Int. Cl.<sup>4</sup>

A 61 B 6/00

識別記号

3 2 0

庁内整理番号

Z-8119-4C

⑭ 公開 平成1年(1989)11月24日

審査請求 未請求 請求項の数 5 (全3頁)

⑮ 考案の名称 可動X線診断装置

⑯ 実 願 昭63-143517

⑰ 出 願 昭63(1988)11月4日

優先権主張 ⑱ 1988年5月6日 ⑲ オランダ(NL) ⑳ 8801196

⑳ 考 案 者 ヨハネス・イグナチウ オランダ国5621 ベーアー アインドーフエン フルーネ  
ス・マリー・コーベン パウツウエツハ1㉑ 出 願 人 エヌ・ペー・フィリッ オランダ国5621 ベーアー アインドーフエン フルーネ  
ブス・フルーイランベ パウツウエツハ1  
ンフアブリケン

㉒ 代 理 人 弁理士 杉村 暁秀 外1名

## ㉓ 実用新案登録請求の範囲

- 1 C字形弧部を備え、このC字形弧部にはX線源部とX線検知器が相互に対向して取り付けられてあり、更に垂直シャフトの周りに回動自在な2個の側輪と1個の前輪とを備える、可動X線診断装置において、前記X線診断装置は交換自在式車輪を取り付ける手段とこれらの手段に着脱自在に連結することができる交換自在式車輪とを備える、ことを特徴とする可動X線診断装置。
- 2 2個の前記交換自在式側輪の高さが調節自在であることを特徴とする請求項1に記載の可動X線診断装置。
- 3 棒が前記交換自在式前輪の懸架装置に固定されていて、この棒は上方への力を前記懸架装置の回動軸に作用させることができ、且つこの棒により前記X線診断装置を制御可能な方法で牽引することが可能である、ことを特徴とする請求項1又は2に記載の可動X線診断装置。
- 4 多数の交換自在式車輪は、制動力を調節できるブレーキを備えることを特徴とする請求項1から3のうちいずれか1項に記載の可動X線診断装置。

- 5 前記一对の交換自在式側輪を支持体の2点の位置に異なる軸距で取り付けることができることを特徴とする請求項1から4のうちいずれか1項に記載の可動X線診断装置。

## 図面の簡単な説明

第1図は可動X線装置の概略図、第2図は交換自在式側輪の側面図、第3図は交換自在式前輪を取り付ける方法を示す図解図、第4図は交換自在式前輪の断面図である。

2…可動X線診断装置、3…C字形弧部、4…X線源部、6…X線検知器、8…シリンダ、10…柱脚状部、12…電気部品モジュール、13…可動支持体、14, 15, 16…足車、18…アーム、19…側方アーム、20…孔、21…孔、22…交換自在式車輪、24…シャフト、26…シリンダ、28…プシュ、29…シャフト、30…スピンドル構造体、32…アーム、34…閉鎖シリンダ、35…突出固定ピン、36…掛け金、38…握り、40…ばね、42…キャップ、45…交換自在式前輪、47…引棒、49…カム、51, 53…車輪懸架装置の一部、60…掛け金ピン、62…シャフト、64…固定ピン、66…掛け金、68…握り。

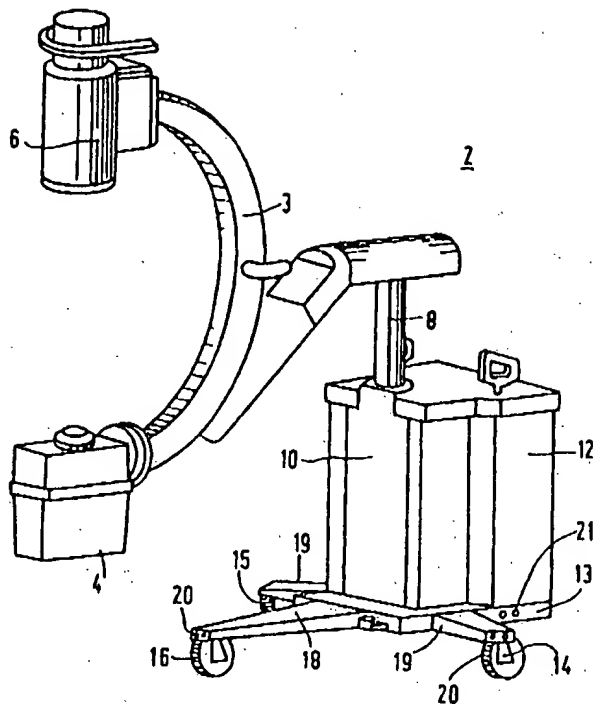


FIG. 1

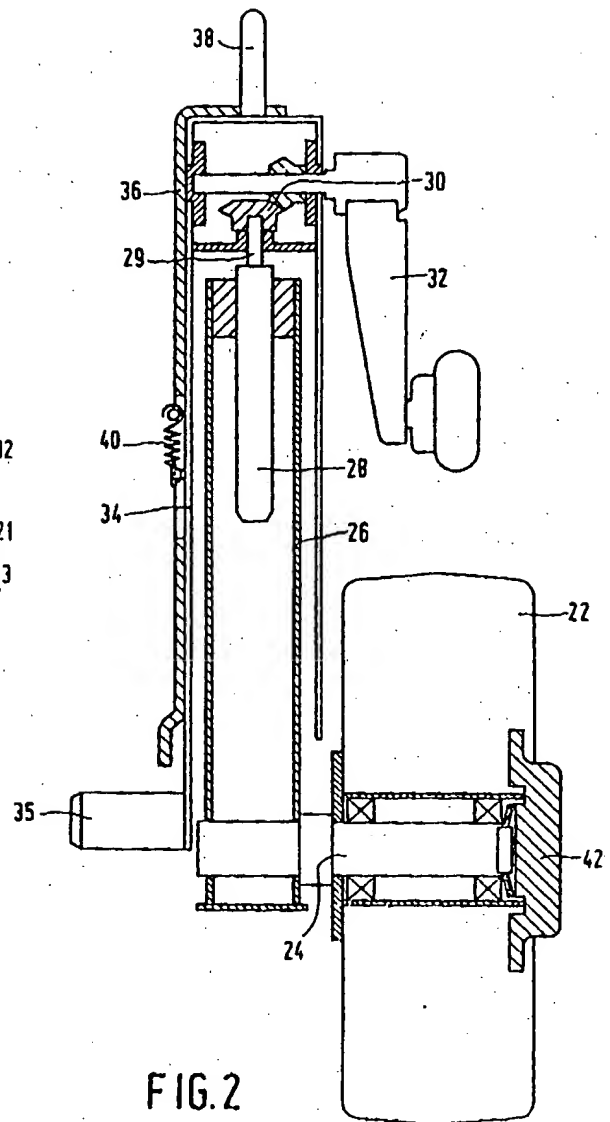


FIG. 2

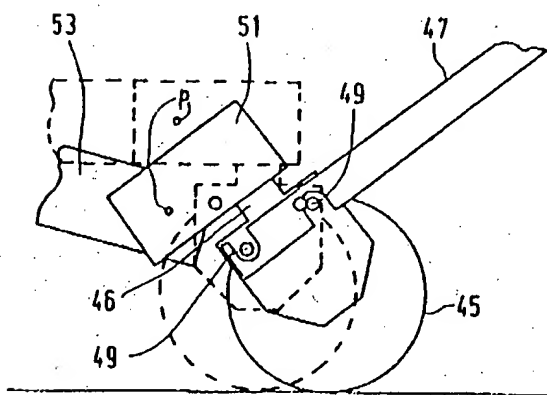
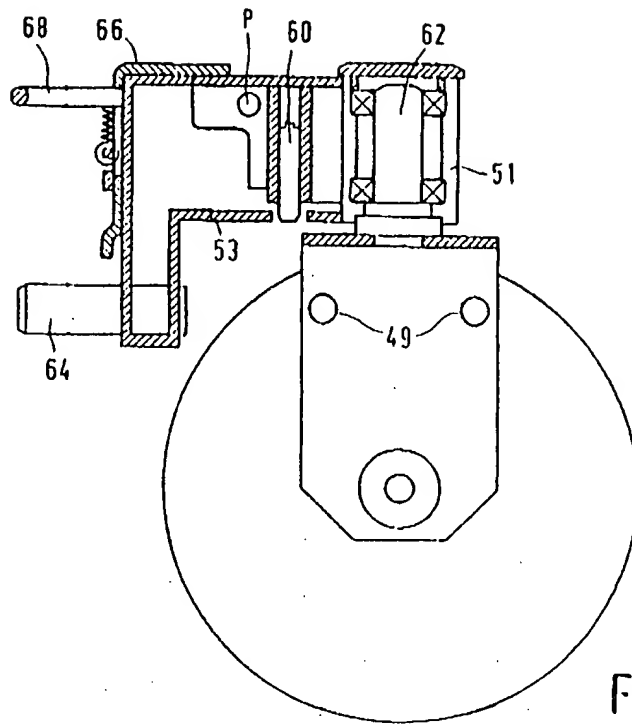


FIG. 3



BEST AVAILABLE COPY